

## 第2章 イエスキリスト

### この章のテーマ

1. 罪<sup>つみ</sup>について理解いたします。
2. イエスキリストについて、私との関わりの中で以下のことを理解します。
  - a. イエスキリストが、私たちを救うために来られた神の子であることを知ります。
  - b. イエスキリストの語られたメッセージ、その生き方、その結果としての十字架について知ります。
  - c. イエスキリストが復活されたことについて知ります。

### 【1. 罪とは？】

神様は私たちを造り、愛し、その完全な愛の中に招いてくださっています。

本来、人は神様との愛と命の関係の中で生きる存在であったのです。

しかし人は、自らが神のようになることを求め、神様を無視しました。

神様に背を向け、神の愛と赦しを拒み続ける自己中心的・自己絶対化を

求める生き方を選びました。これが原罪<sup>げんざい</sup>です。

罪は、神様との交わりに断絶(これを聖書では、死<sup>し</sup>といいます)を引き起こしました。

本来あるべき姿から外れてしまった人とこの世界は、不信、不満、憎しみ、憤り、争い、暴力、不自由感、空しさ、戦争、破壊、公害、汚染、などの罪々や矛盾や悪を生み出してきました。

神さまの創造された本来の人間は憎むことさえ全く知らない存在でした(マタイ5:21-22)。

私たちはその本来の人間からどれほど外れてしまったことか、と思わされます。

これらの問題を根本的に解決することができない私たちは、存在の原点に戻る必要があるのではないのでしょうか？

つまり、神様との愛と命の関係の中で生きる存在である、というところに戻るのです。

そのために、その原点すらもわからなくなって迷子になってしまっていた私たちのところにイエスキリストが来てくださったのです。



### 【2. 私たちと関わりを持たれるイエスキリスト】

イエス様の誕生は、人類の初めより長年預言されてきました。

そしてついに、ローマ皇帝アウグスト帝の治世にイエス様は誕生されました。

イスラエル民族の族長アブラハムなどに与えられた祝福の約束、そして預言者達が予言しつつ待ち望んだ救い主イエス様のことが歴史的事実となったのです。

救い主イエス様は、預言者ミカが預言したように王ダビデの町ベツレヘムで生まれました。それはまさに、神のひとり子が、人間となられて、神様の完全な愛と赦しを表し、人類を罪から贖い、死より復活し、全世界に真の救いが及ぶための神の大いなる知恵であったのです。

## 【2a. 神の子イエスキリストがこの世界に私たちのそばに来られました】

初めに言ことばがあった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は初めに神と共にあった。全てのものは、これによってできた。（ヨハネ1：1、2）

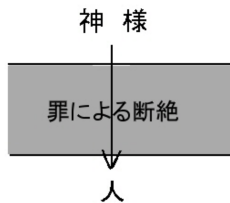
ここで、「言ことば（ロゴス）」はイエスキリストのことを指しています。

この箇所が示しているように聖書は、イエスキリストが神、創造主そうぞうしゆであると伝えています。

またイエスキリストが言ことばであるとは、言葉が語る人の思想や人格を伝えるように、イエスキリストが神ご自身の思想や人格を伝えるお方であることを意味しています。

さらに、ヨハネ福音書は、

言ことばは肉体となり、私達のうちに宿った。（ヨハネ1：14）



と、神の子イエスキリストが人間となられてこの世に来られた事（これを「受肉じゆにく」といいます）を記しています。

それは、人の罪の結果、神様と断絶してしまっている人間とその世界に来られて、神様と人との交わりを回復するためであったのです。

教会は、この出来事をクリスマスとしてお祝いしています。

## 【2b. イエスキリストの語られたメッセージ、生き方、そして十字架】



- イエスさまは、父なる神さまは、全ての人と共にいて、無条件に完全に赦し、愛し、生かしてくださっている、と語られました。（イエス様の語られたこのメッセージは、原初から今も存在する真実という意味で「現事実げんじじつ」と呼ばせていただきます）

例えばイエス様は、「人はその犯すどんな罪も赦していただけます。」（マルコ3：28）

「父父なる神は、悪人たちの上にも善人たちの上にも彼の太陽を上らせ、義なる者たちの上にも不義なる者たちの上にも雨を降らせてくださるからである。」（マタイ5：45）とされています。

- イエス様が「すべての人への神さまの無条件で徹底的な赦しと愛を語られた」と聞いて、「何と生ぬるいメッセージなのだろう。そんなことをしたら、人をダメにしてしまう。」と思われるかもしれません。

けれども、知識・頑張り・規則・訓練などによって、神さまとあなたとの間に本当の親子のような親しい関係が生まれるのでしょうか？むしろ逆説的な表現になりますが、徹底した赦しと愛を受けた者は、それに答えようと自らを大切にしながら、自由の中で自ら努力し、成長できるのではないのでしょうか？

- イエス様は、「神さまはいつも、あなたや私を愛し、子どもと呼んでくださっているのだよ」と教えてくださいました。（ぜひ、ご自分の名前を下線部分に入れて読んでみてください）

■新約聖書に収められている手紙の多くを書いたパウロという人は、イエスキリストが伝えられたそのような赦しと愛の神さまを信じ、その神さまを明らかにされたみ子イエスキリストを信じることによって人は神さまとの間にすばらしい関係を持つことができるのだ、と言っています。（ローマ3：22.26）

■けれども、人々はそのイエス様を拒絶し十字架に架けました。

神さまの愛と赦しを拒んで自己中心に生きる人々の原罪、厳しく裁く神というイメージを作り上げてその神を恐れることを伝えている宗教者たちのイエス様への憎しみと妬み、イエス様の側につくことによって不利益を受けたくないという人々の保身の思いは、イエス様を十字架刑へと追いやりました。



■イエス様ご自身も、神さまの無条件で徹底的な赦しと愛という福音を説き続けるなら、最終的には自らの命が脅かされるにちがいないということ

を十分わかっておられました。

それでもなお自らの命を賭してまで、神さまの赦しと愛を徹底的に説き続けられました。

それゆえに「イエス様の死は、私のためでもあった」と言えます。

イエス様は十字架の上で

父よ。彼らをお赦しください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。

（ルカ23：34）

と祈られました。

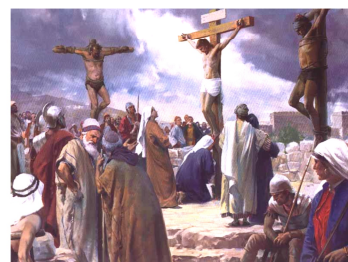
イエス様の語られたメッセージと生き方は十字架に貫徹されたのです。

十字架で苦しめられたイエス様は、父なる神により三日後に復活されました。

その時、弟子たちは、イエス様の語られたこと、その愛に満ちた生き方が、神様から来ていることをはっきりと知ったのです。

■イエス様が語られている現事実（神さまはあなたと共にいて、無条件に完全にあなたを赦し、受け入れ、愛し、生かして下さっている）を受けてどう生きるのか？

十字架に架けられ復活されているイエス様はいまも私たちに「あなたはどう生きるのか？」と赦しと愛をもって優しく真剣に問いかけておられるのではないのでしょうか？



## 【2c. イエスキリストは復活されました】

…イエスさまの十字架と復活は、背中合わせの真理です…

もし、イエスキリストのご生涯が十字架の死で終わっていたとしたら(弟子達はイエス様を見捨てて逃げたままでしたので)、新約聖書もキリスト教も教会もありませんでした。この人類の歴史もずいぶん違ったものとなっていたことでしょう。

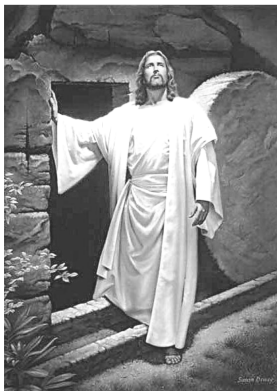
しかし、イエス様は復活されました。新約聖書はその喜びに満たされて書かれました。イエスキリストの復活により、人々はイエスキリストご自身、イエスキリストの語られたこと、イエスキリストの生き方、そして何よりも十字架の意味を明確に理解することが出来たのでした。教会ではイエスキリストの復活を記念して、毎年イースターをいただきます。

さらに、イエスキリストの復活には以下のような意味があります。

### ■ 罪と死よりの解放

もしイエスキリストが復活されなかったのなら、人類はイエスキリストと十字架の意味を知ることができず、依然として神から離れて虚無の中に彷徨う迷子<sup>さまよ</sup>であったことでしょう。イエスキリストが復活して私達と共にいてくださるので、私達は主と共に三位一体の愛の関係の中で神様と共に本当の命(永遠の命)に生きることができるのです。(1コリント15:17)

### ■ イエス様の復活は以下の真理の確証です



- ・イエスキリストの語られたこと、十字架にあらわされたその愛の生き方が、父なる神様によって全面的に肯定されている。
- ・イエスキリストが復活されたように、私たちにもそれぞれに復活が起こること。
- ・イエスキリストが子なる神であること。

### 【イエスキリストは昇天されました】

イエスキリストは復活された後、約40日間ご自身を人々に現されました。その後、弟子たちの見ている前で天に挙げられて行きました。昇天には以下のような意味があります。

- ・イエス様は私たちの救いを完全に成し遂げられました。(マタイ19:28)
- ・イエスキリストは昇天後、私たちに聖霊を送られました。そのようにして聖霊の働かれる時代が開かれました。(ヨハネ16:7)
- ・イエス様は私たちの家(天国の家)を用意してくださいます。(ヨハネ14:2)
- ・イエス様は私たちのためにとりなし(仲介)をしてくださいます。(使徒7:55、ヘブル7:24)

※.イエス様は、今も生きておられます。

そして、あなたを招き、あなたと共に人生を歩もうとしておられるのです。

あなたは、キリストと共に歩む時、素晴らしい奇跡と祝福の人生を体験してゆくのです。

1. 次のうち、正しいと思うものに○印を、まちがいと思われるものに×印をつけてください。 (各4点、40点)
- ヨハネ福音書1章の「初めに言があった。…言は神であった。」の「言」とは、イエスさまのことです。
  - 人は神様との愛と命の関係の中で生きる存在でしたが、自らが神のようになることを求め、神様を無視しました。そして、神様に背を向け、神の愛と赦しを拒み続ける自己中心的・自己絶対化を求める生き方を選びました。これを原罪と呼びます。
  - イエスさまは、父なる神さまは、全ての人と共にいて、無条件に完全に赦し、愛し、生かしてくださっている、と語られました。
  - イエスさまは、私たちのところに来られました。そのことを教会では、イースターとしてお祝いいたします。
  - 旧約聖書にはイエスさまについての預言は書かれていません。
  - イエスさまは十字架上で死なれました。
  - 人々は、イエス様が十字架につけられないように、イエス様のために戦いました。
  - イエスさまは、神さまと私たちの間に和解をもたらし（私たちの罪の問題を解決し）、私たちを再び神さまの愛されている子どもにしようとされました。
  - イエスさまは私たちの身代わりとして死なれたので、そのことを知った私たちはこれからは大胆に悪いことをしたいと思います。
  - イエスさまは死の三日目に、復活されました。

2. 次の文の、□の中に適当と思う字を入れてください。(□に一字ずつ)

(各10点、50点)

- a) □□とは、自分が神のようになることを求め、それゆえに父なる神を無視し、神に背を向け、神の愛と赦しを拒み続ける生き様の事です。
- b) イエスさまの語られたメッセージと生き方は□□□に貫徹されました。
- c) 弟子たちは、イエスさまの復活を通して、イエス様の語られたこと、その愛に満ちた生き方が□□から来ていることを知りました。
- d) イエスさまの復活は、未来におこる私たちの□□を確証しています。
- e) イエスさまの復活は、イエスさまが□であることを証明しています。

3. イエスさまが十字架の上で語られた言葉を一つ、書き記してください

(10点)

何かご質問があればお書きください。

